

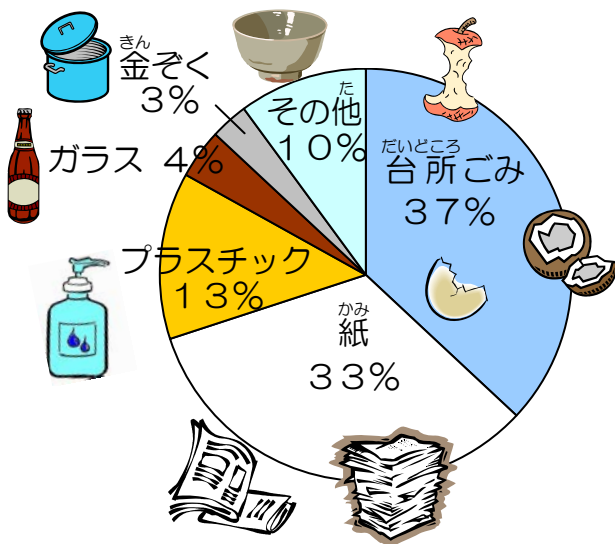
どんなごみがあるの？

わたしたちは、^{ふく}服を着て、^た食べ物を食べ、^{いえ}家に住んでいます。こうした生活の中で、^{せいかつ}たくさんのごみを出しています。このごみのことを^{かんが}考えてみましょう。

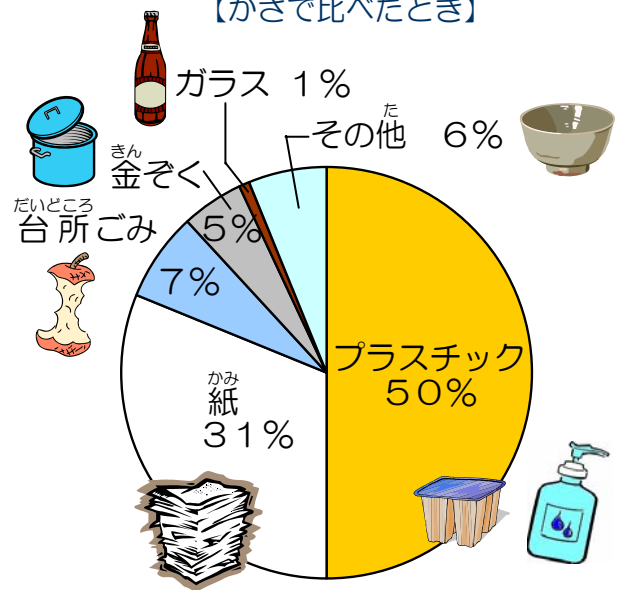
ごみにはどんなものがありますか？ ^{かてい}家庭から出るごみは、^{した}下のグラフのように、^{だいどころ}台所ごみ、^{かみ}紙、^{プラスチック}プラスチックなどがあります。

ごみの割合は、「^{おも}重さ」で比べたときと、「^{かさ}かさ」で比べたときとで、^か変わってきます。

【^{おも}重さで比べたとき】

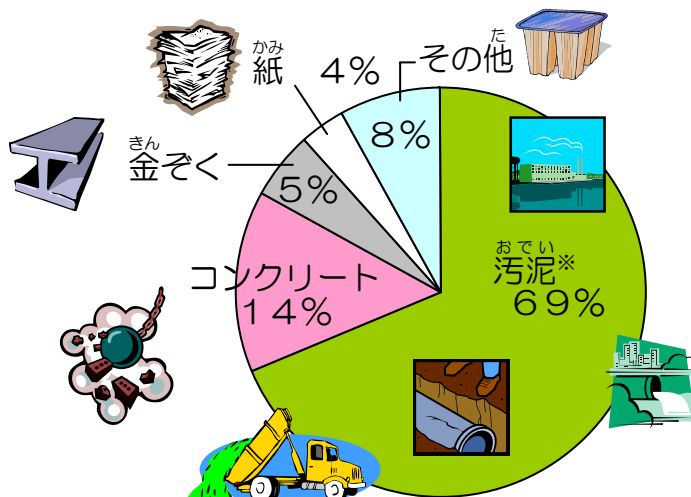


【^{かさ}かさで比べたとき】



(^{ひがしおおさかし}東大阪市の^{かてい}家庭から出るごみの^{わりあい}割合 ^{へいせい}平成17年度)

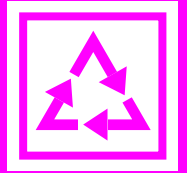
また、^{かいしゃ}会社や^{こうじょう}工場から出るごみは、^{した}下のグラフのように、^{おでい}汚泥※、^{コンクリート}コンクリート、^{金ぞく}金ぞくなどがあります。



※『^{おでい}汚泥』とは？
^{げすい}下水処理場や^{こうじげんば}工事現場から出るどろのことです。

(^{ひがしおおさかし}東大阪市の^{かいしゃ}会社などから出るごみの^{わりあい}割合)

ごみはどこへいくの？

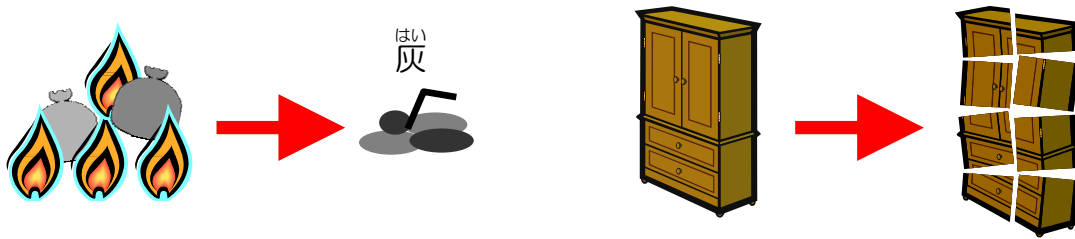


わたしたちの家庭から出たごみはどこへ行くのでしょうか？

ごみはまず、車で集められ、ごみ焼却場などへ運ばれます。



ごみ焼却場では、ごみをもやしたり、細かくつぶしたりします。



ごみの中には、リサイクル工場でリサイクルされるものもあります。



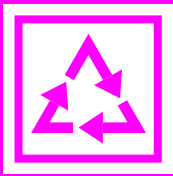
もやされたごみは灰になりますが、この灰は神戸の沖まで運ばれ、ごみうめ立て場にうめられます。



でも、これから先もあちこちの山や海をうめ立てることができるのでしょうか？

ごみを安全にうめ立てられる場所は、もう残りわずかです。

なんとかしなければなりません・・・。

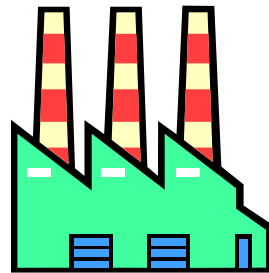


ひとひと ごみをかたづける人々

自分が出したごみを自分でかたづけるのは当たり前ですが、そのごみをだれが運んだり、もやしたり、リサイクルしたりしているのでしょうか？ また、ボランティアで公園をきれいにする人々もいます。そんな人々の苦勞も考えてみましょう。



台所ごみの中に、割れたガラスがまじっていると、手や足を切ってしまうことがあるんだよ。

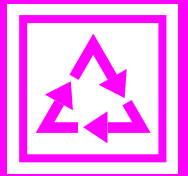


夏の暑い日や冬の寒い日はとても大変だけど、みんなから「ありがとう」って声をかけてもらえると、つかれも吹っ飛ばね。

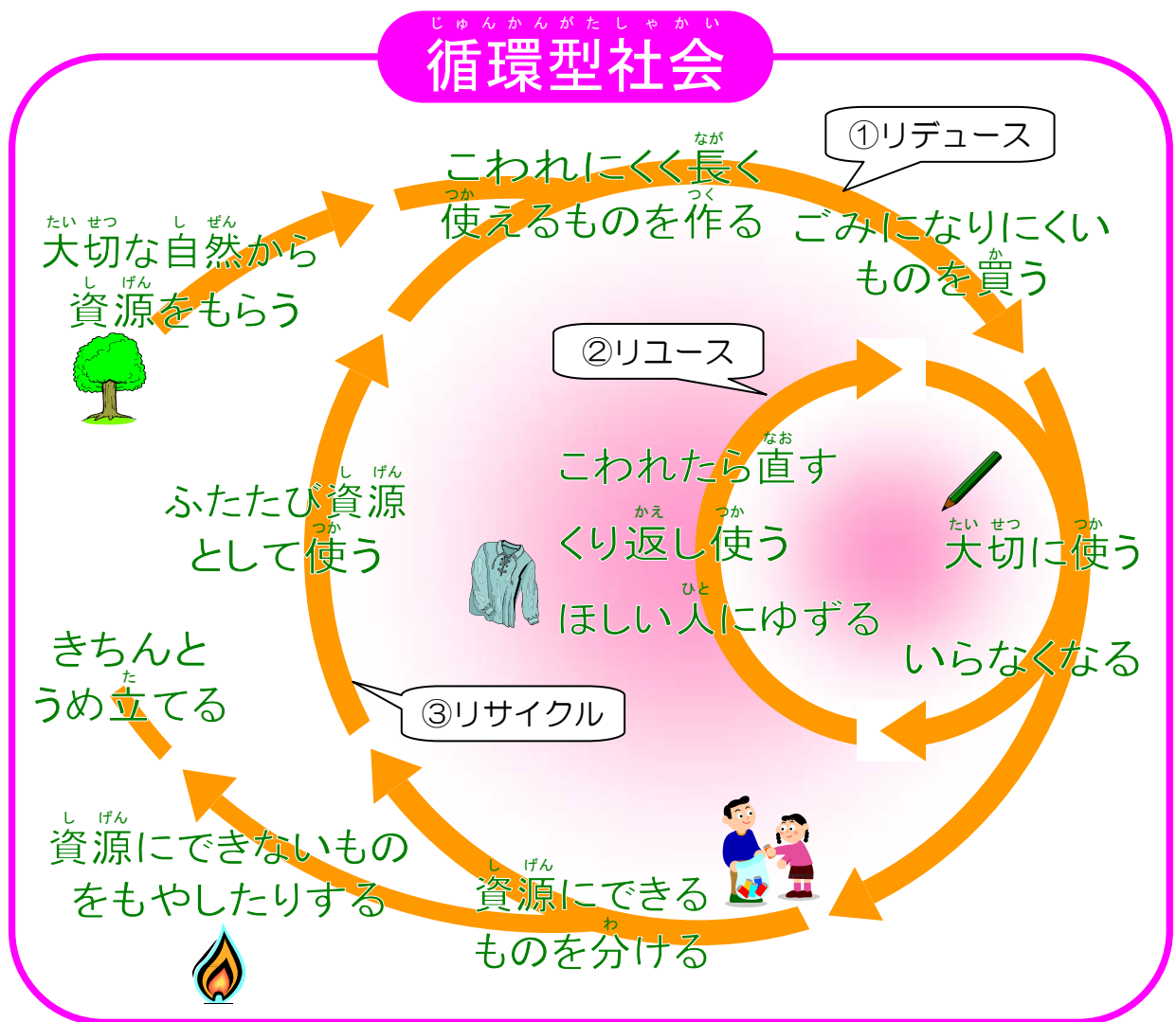


みんなの公園に、ごみがたくさんすてられていると、楽しく遊べないよね。

ごみから資源へ 『循環型社会』



わたしたちは、いらなくなったものをすぐごみ箱にすててしまいます。ちょっと待ってください！ 今すてたものは、まだ使えるのではないですか？（①リデュース）あなたの他に使う人はいませんか？（②リユース）直せばまだ使えませんか？ ごみ箱のそばにリサイクルボックスはありませんか？ 例えばマンガの本はリサイクルされ、おやつ（おやつ）の紙箱へと生まれ変わります。このおやつ（おやつ）の紙箱もまたリサイクルされます。（③リサイクル）



上の絵のように、ものがぐるぐるまわっていくことを「循環」といいます。みんなが循環にチャレンジして、ごみを少なくすることで大切な自然を守る社会、「循環型社会」をつくっていきましょう。